

平成 19 年 8 月 15 日

各 位

東京都渋谷区渋谷二丁目 17 番 5 号
株式会社ガイアックス
代表執行役社長 上田 祐司
(コード番号: 3775 名証セントレックス)
(連絡先) 執行役財務部長 小高 奈皇光
TEL 03-5464-0376 (直通)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 2 月 21 日の決算発表時に公表いたしました平成 19 年 12 月期(自平成 19 年 1 月 1 日至平成 19 年 12 月 31 日)の中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、平成19年12月期の通期業績予想につきましては現在修正の予定はございません。

記

1. 平成 19 年 12 月期中間連結業績予想数値の修正 (自平成 19 年 1 月 1 日至平成 19 年 6 月 30 日)
(単位:百万円)

(連結)	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,150	△100~0	△100~0
今回修正予想 (B)	1,339	△4	△21
増減額 (B - A)	189	—	—
増減率 (%)	16.5%	—	—
ご参考前期実績 (通期) *	1,731	△119	△120

* ご参考前期実績は、平成 18 年 12 月期(自平成 18 年 6 月 1 日至平成 18 年 12 月 31 日)の 7 ヶ月間の連結決算数値です

2. 平成19年12月期中間個別業績予想数値の修正(自平成19年1月1日至平成19年6月30日)

(単位:百万円)

(単体)	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	400	△70~30	△70~30
今回修正予想(B)	584	38	△94
増減額(B-A)	184	—	—
増減率(%)	46.1%	—	—
ご参考前期実績(通期)*	686	△97	△90

* ご参考前期実績は、平成18年12月期(自平成18年6月1日至平成18年12月31日)の7ヶ月間の個別決算数値です

3. 修正の理由

当社グループが属するIT業界におきましては、ブログ、SNSなどの利用が引き続き伸長し、一層影響力のあるメディアとして定着してきております。一方で、市場の拡大に伴い、競合他社の参入や低価格ソリューションパッケージの台頭などで熾烈を極めております。

このような環境下、当社としては法人向けコミュニティ事業のさらなる強化や、コミュニティ運営サポート等の低価格パッケージソリューションなどの提案に力を入れて参りました。具体的には、企業の内定者向けSNSである「フレッシュャーズ」のサービス開始やコミュニティサイトの顧客サポート・監視業務等の運用受託事業の拡大、また新規顧客獲得による受託開発案件の継続的な獲得などを精力的に推進して参りました。その活動の結果、中間期における連結売上高、単体売上高、単体経常利益については前回発表予想を上回る見込みです。

また、オンラインゲーム事業につきましては、平成19年3月1日に当社のゲーム事業部門を会社分割し、新設会社である株式会社UTDエンターテインメントに承継後、同新設会社の発行済株式の全株式を株式会社インデックス・ホールディングスへ売却いたしました。ゲーム事業からの撤退に伴い、オンラインゲームの営業拠点として活動を行っておりました連結子会社である株式会社ガイアックスコアについても、平成19年6月清算が結了いたしました。加えて、オンラインゲーム事業を営む当社出資先の台湾法人APE Inc.(猿人在線有限公司)につきましては、本中間個別決算において減損処理を実施し、コミュニティソリューション事業へさらに集中する事業体制を確立してまいります。APE Inc.の減損処理の実施のため、中間期における単体当期純利益については、前回発表予想を下回る見込みです。

以上により、中間期の連結および個別業績見通しにつきましては、平成19年2月21日発表の業績予想を上記のとおり修正させていただきます。

今後とも、株主様の期待に応えるべく企業価値の向上を目指して、全社一丸となって早期の業績回復に取り組んで参る所存でございますので、何卒ご理解賜ります様よろしく御願い申し上げます。

以上

〈業績等の予想に関する注意事項〉

この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして実際の業績等は、業況の変化などにより、この資料に記載されている予想とは異なる場合がありますことをご承知おきください。